

令和5年度入学生 滋賀短期大学の三つのポリシー

本学教学の基本方針		
<p>本学は、心技一如の建学の精神により築きあげてきた実学教育の伝統を踏まえ、来たるべき新しい社会に、適切に対応する専門的能力をもった人材を育成します。本学の卒業生は、深い人間性と高い倫理観をもつとともに、以下の3つのポリシーを身につけた専門性と教養を活用して、職場や地域社会に存在する様々な課題に取り組み解決する能力を有します。</p>		
ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>卒業時点において、以下の観点から、各学科・コースの目的に沿った専門的な知識と、それを有効に活かすための技能、さらにそれらの基礎になる人間力をもっていることを求めます。</p> <p>【専門知識と教養】 各学科・コースが掲げる専門的知識だけでなく、それを支える広い視野をもつために、幅広い教養が身につけていること。</p> <p>【専門性を活かす技能】 専門知識を理解したうえで、それを使いこなせる技能と、それを応用する実践能力が身につけていること。</p> <p>【問題提起・解決能力】 知識と技能を習得したうえで、専門分野にかかわる課題の所在やその分析の方法を総合的に考え、適切に判断して問題の解決にみちびく能力が身につけていること。</p> <p>【表現力・コミュニケーション力】 問題提起から分析を経て解決に至る過程と、その成果を効果的にアピールするための表現能力が身につけていること。また豊かな人間性をもって人と人との円滑なコミュニケーションを実現する力が身につけていること。</p>	<p>本学では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、4学科に共通のカリキュラム編成の方針を掲げると同時に、それぞれの学科・コースが、特色をもった教育カリキュラムを展開しています。</p> <p>また丁寧でわかりやすい授業をおこない、学生の理解度を高める「学修者本位の教育」の実現を目指しています。</p> <p>【カリキュラムの編成】 専門科目と一般教養科目をバランスよく配置し、2年間のすべての授業が有機的に連携して機能するよう、系統的なカリキュラムを編成しています。</p> <p>【アクティブラーニングの充実】 アクティブラーニングを積極的に取り入れ、学生と教員、あるいは学生同士が向き合う授業を行っています。</p> <p>【ITリテラシー、データサイエンス（リテラシーレベル）の教育の推進】 デジタルライフビジネス学科の新設を契機として、全学でデジタル社会に対応できる教育を推進します。ノートパソコンを必携し、デジタル機器やオンラインを活用した教育を行うとともに、4学科すべてで、ITリテラシーとデータサイエンスの基礎を修得するようにします。</p> <p>【教育の質保証】 専門科目はできるだけ少人数教育ができるよう、同一科目でも複数クラスを置くなどの措置を講じています。また教育の質を高めるために、各教員が授業改善に努めることを制度的に確立しています。授業改善のためには学生の評価も積極的に導入し、その結果をフィードバックし改善につなげます。</p> <p>【実習科目の充実】 実践に強い資質を身につけるために、実習科目を重視したカリキュラムを編成しています。資格・免許にかかわる学外実習科目については、十分な事前・事後指導を行い、実効性の高い実習ができるようにしています。</p> <p>【キャリア教育の充実】 キャリア教育についても、独自の科目を配置し、入学から就職まで、社会人として基本的な資質を身につける教育を行います。インターンシップもキャリア教育の一環として、積極的に推奨及びサポートしています。</p> <p>【学修支援のためのセンター】 ラーニング・サポートセンターにおいて、授業外にも学修を支援し指導を行います。センターでは個別の学生の学力や</p>	<p>本学は、選択された学科・コースをなぜ志望したか、何を学びたいか、将来どのような分野で活躍したいかが明確で、学ぶ意欲を強くもつ人を求めます。</p> <p>学力の3要素の観点から、次のような資質・能力を求めます。</p> <p>【知識・技能】 高等学校までの教育課程における基礎的な学力を身につけていること、とくに国語（日本語）において基本的な読む力と書く力をもっていること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 自分で論理的に考えることができ、集団において自分の意見を表現し、課題について議論できるコミュニケーション力をもっていること。</p> <p>【主体性・多様性・協働性】 与えられた学修に加えて、自分から学ぼうとする意欲をもって学修し、その成果を、将来社会人として活かしていこうという意志をもっていること。</p> <p>このアドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れるため、以下に示す選抜方法を実施します。具体的な選抜内容と学力の3要素の扱いは次のとおりです。</p> <p>◆総合型選抜 事前相談を行った後、レポート(エントリーシート、模擬授業受講レポート)と調査書により「思考力・判断力・表現力」を中心に、「知識・技能」「主体性・多様性・協働性」についても評価します。</p> <p>◆学校推薦型選抜A 高校時代に、学習に主体的に取り組んでいたことが必要で、小論文、面接、推薦書、調査書により、学力の3要素を総合的に評価します。とくに小論文、面接では「思考力・判断力・表現力」を、推薦書では「主体性・多様性・協働性」を評価します。</p> <p>◆学校推薦型選抜B 国語(日本語)の基礎力があることが必要で、基礎テスト(国語)、面接、推薦書、調査書により、学力の3要素を総合的に評価します。とくに基礎テストでは「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を、面接では「思考力・判断力・表現力」を、推薦書で「主体性・多様性・協働性」を評価します。</p> <p>◆学校推薦型選抜S 特定のスポーツに秀でており、本学指定の部活動でどのような役割を果たしたいかが明確であるものに対し、提出書</p>

	<p>志望に応じた支援プログラムを実施しています。</p>	<p>類（自己推薦書、推薦書、活動実績書、調査書）と個人面接により「思考力・判断力・表現力」を中心に、「知識・技能」「主体性・多様性・協働性」についても評価します。</p> <p>◆一般選抜 高校時代に学んだ国語（日本語）の総合力があることが必要で、学力検査（国語総合または小論文のどちらかを選択）、面接、調査書により学力の3要素を総合的に評価します。とくに学力検査では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を、面接では「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。</p> <p>◆大学共通テスト利用選抜 高校時代に学んだ学習内容を十分身につけていることが必要で、学力検査（大学共通テスト試験科目）によって主に「知識・技能」について評価します。さらに調査書で主に「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。</p> <p>◆社会人特別選抜 本学は多様な経験を持つ人材を受け入れることにより、活気ある大学となることを目指し、社会人を受け入れます。小論文・面接では主に「思考力・判断力・表現力」を評価します。</p> <p>◆外国人留学生特別選抜 本学は外国文化を身につけた人材を受け入れることにより、活気ある大学となることを目指し、外国人留学生を受け入れます。事前相談を行った後、小論文、面接、口頭試問では主に日本語能力と日本語による「思考力・判断力・表現力」を評価します。</p>
--	-------------------------------	---